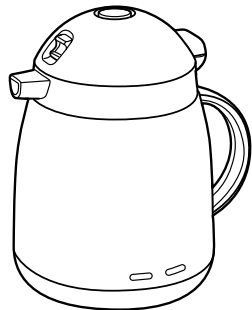


電気ポット 1L  
**TP-4413**  
**TP-D413**  
**取扱説明書**



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取扱いは事故につながります。この取扱説明書は必ず保管してください。

も く じ

安全上のご注意 .....	1・2
用上の注意とお願い .....	3
部の名称とはたらき .....	4
いかた .....	5・6
お手入れ .....	5・6
ゴムパッキンの取り替えかた .....	7
こんなときは .....	7
アフターサービス .....	8
仕様 .....	8

## ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- 1 お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- 2 お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
- 3 お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

# 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 警告



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしないでください。

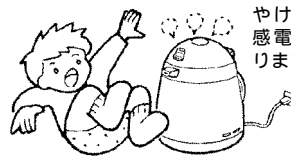


ショート・感電の恐れがあります。



禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手の届く所で使わないでください。

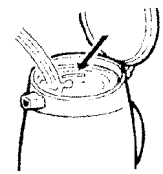


やけどや故障・感電の原因になります。



禁止

満水目盛以上の水を入れないでください。

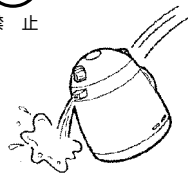


湯がふきこぼれやけどの恐れがあります。



禁止

ポットを転倒させないでください。



湯が流れてでやけどの恐れがあります。



禁止

傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。



湯が流れてでやけどの恐れがあります。



禁止

ふたを勢よくしめないでください。



湯がふきこぼれやけどの恐れがあります。



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



強制

定格 15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



強制

マグネットプラグや電源プラグなどに金属やほこりなどのゴミを付着させないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

## 注意



禁止

湯わかし中はふたをあけたり給湯したり、湯をそそがないでください。

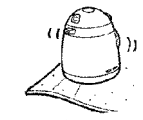


湯が飛び散り、やけどの原因になります。



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。

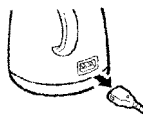


火災の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は、マグネットプラグや電源コードを取りはずしてください。

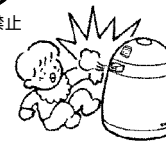


けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



接触禁止

注ぎ口に手をかざしたり、触れたりしないでください。



やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。



禁止

空炊きをしないでください。容器の熱変色など故障の原因になります。



禁止

水以外(牛乳、酒、お茶類)のものを入れてたり、氷を入れて保冷用として使わないでください。



わきすぎによるやけどや、焦げつきや腐食や結露により感電の原因になります。



強制

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグをもって引き抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

感電・漏電火災の原因になります。



禁止

交流 100V以外では使用しないでください。火災・感電の原因になります。

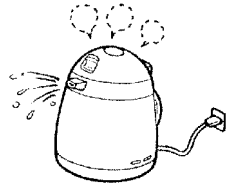


接触禁止

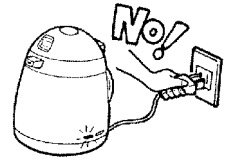
上ぶたを開けるときの蒸気に触れないでください。やけどの原因になります。

## △使用上の注意とお願い

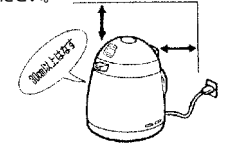
水が多すぎると、わかしたとき注ぎ口より湯がでることがあります。また、少なすぎると空炊きの原因になります。



電源プラグやマグネットプラグの抜き差しは、湯わかし中にはしないでください。湯わかし中に抜き差しすると、スパークしてプラグをいためることがあります。



かべから30cm以内のところでは使わないでください。



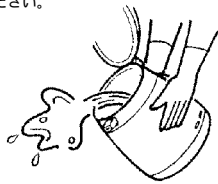
使い始めのときは、プラスチックのにおいがすることがあります。異常ではありませんのでそのままお使いください。

湯わかし時には、多少湯わかし音が出ますが異常ではありません。

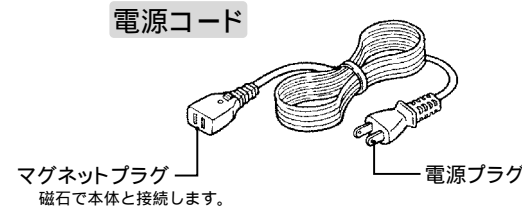
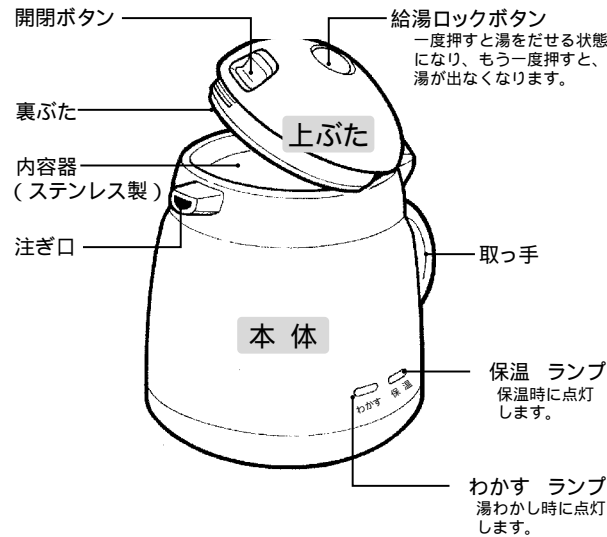
水を入れるときは、ケトルや水指しなどを使い、水道のじゃ口から直接入れないでください。じゃ口から直接入れると、水をあふれさせたり、プラグ差込み口などに水が入り感電や故障の原因になります。



水のつぎたしをくり返して長期間使用しますと、水道水の中のカルシウムなどの成分が内容器にこびりつくことがありますので、1日1回は必ずのこり湯をすててください。

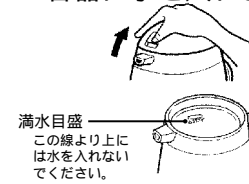


## 各部の名称とはたらき



## 使いかた

### 1. 容器に水を入れます。

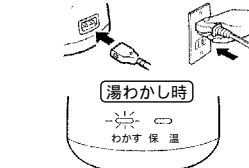


開閉ボタンを押しながら、上ぶたをあけ、容器の滴水目盛以内に水を入れてください。上ぶたを「カチッ」と音がするまで押しつけて閉めます。

#### ご注意

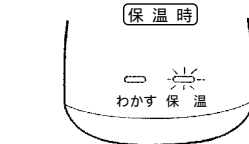
上ぶたが確実にしまっていないと、お湯を注ぐときや、転倒したときに、お湯が流れ出て危険です。

### 2. 電源コードを接続します。



マグネットプラグを本体に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。ランプが点灯して湯わかしを始めます。

### 3. わかす 保温



コードを接続すると、わかすランプが点灯し、湯わかしを始めます。湯わかしが終わると、自動的に保温に切りかわり保温ランプが点灯します。保温を続けるときは、電源プラグを抜かないでください。電源プラグを抜きますと、徐々に湯温がさがります。

#### わか上がり時間と温度

満水(1.0L)の場合、約15分で約95にわか上がります。(沸とうはしません。)(水温、室温20の場合)

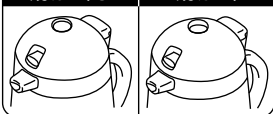
#### 保温温度

満水(1.0L)の場合、約85~90で保温します。(水温、室温20の場合)

## 使いかた (つづき)

### 4.お湯を注ぎます。

お湯が出ない お湯が出る

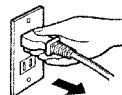


上ぶたの給湯ロックボタンを押し込みます。とってを持ち本体を傾けてお湯を注ぎます。

#### 給湯ロックボタンについて

給湯ロックボタンは一度押しと下がり、もう一度押しと上がります。給湯ロックボタンが上がった状態では、本体を傾けてもお湯はでません。安全のため給湯時以外は、上がった状態にしておいてください。

### 5.ご使用後は...



ご使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜くときは、プラグ部を持って抜いてください。マグネットプラグをはずすときは、マグネットプラグをはずすときは、いったん、プラグ部を斜めにさけてから、手前に引いてははずしてください。

## お手入れ

#### 内容器

柔らかいスポンジで洗い、水ですすぐ。

#### 注意

洗剤は使わないでください。

#### 上ぶた・本体

柔らかい布を水にひたし、固くしぼってふく。

製品のまる洗いは絶対にしないでください。

#### 内容器の変色について 赤さび状の斑点(もらいさび)・乳白色・黒色など

水の成分によるもので内容器自体の変色や腐食ではありません。柔らかいスポンジで汚れが落ちないときは次の方法でお手入れをしてください。

レモン(半分)を切って布にくるみ、満水量を入れてわかし、約 時間保温する。柔らかいスポンジでこすり落とし、よくすすぐ。再び湯をわかし、その湯を捨てる。上記の内容で汚れの落ちにくい場合は市販の洗浄用クエン酸をご使用ください。

#### アルカリイオン水をご使用になる場合

内容器にカルシウム分が付着しやすいため、こまめにお手入れを行ってください。

#### 汚れのひどい場合

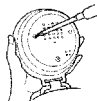
内容器に、食酢を 10% 加えたぬるま湯(約 40 )を入れ、30分～ 2時間、上ぶたをあけてそのままにする。

電源コードは外しておく。電源コードを外して、満水量をいれて 1～ 2 度お湯をわかし、その湯を捨てる。

## ゴムパッキンの取り替えかた

ゴムパッキンは消耗品です。年を目安にご確認ください。損傷している場合は、新しいゴムパッキンと交換(有償)してください。交換の際は、製品の品番をご確認のうえ、お求めの販売店か、当社「お客様サービス係」までゴムパッキンをお求めください。

#### 取りはずしかた

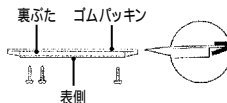


片手で上ぶたを持って固定し、3本のねじをはずし、裏ぶたをとりはずします。裏ぶたからゴムパッキンをはずします。

#### 注意

上ぶたに必要な以上の力を加えないでください。

#### 取り付けかた



図のように裏ぶたに、ゴムパッキンをはめ込みます。はめ込んだゴムパッキンの外周がまんべんなく均等になるように押えて、裏ぶたの外周とゴムパッキン内側の溝をびったり密着させてください。片手で上ぶたを持ち、ねじ(3本)を取りつけます。

#### 注意

裏ぶたは、表と裏をまちがえないよう気をつけてください。

## こんなときは

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなときは	原因	処置
湯がわかかないとき...	電源プラグがコンセントに確実に差込まれていない。	確実に接続してください。
	マグネットプラグが本体に正しく接続されていない。	正しく接続する。
	マグネットプラグの先端に、金属片やゴミなどが付着している。	電源プラグを抜いてから、鉄片やゴミなどを取り除き本体に正しく接続する。
湯が注水口よりあふれる。	70 より高い温度の水を給水している。	70 以下の水を給水する。
湯が注水口よりあふれる。	水を注ぎたすとき、内容器の湯が満水表示よりも多かった。	内容器の湯を満水表示以下にして水を入れなおす。

## アフターサービス

#### 1.保証書

裏表紙に添付しています。保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。保証書をよくお読みになり大切に保管してください。

#### 2.保証期間

お買い上げ日から 年間です。

#### 3.修理を依頼される時

「こんなときは」の項をお確かめいただき、直らないときは電源プラグを抜いてからお買い上げの販売店または当社「お客様サービス係」に修理をご相談ください。

#### 保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」までお申し出ください。

#### 保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店か当社「お客様サービス係」にご相談ください。

#### 4.補修用性能部品の最低保有期間

この電気ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後 5年です。性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

#### 5.アフターサービスについてご不明の場合

当社「お客様サービス係」にお問い合わせください。

#### お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120-33-7455

FAX (0256) 93-1077

お電話受付時間: 平日(月曜-金曜) 午前 9時 - 午後 時  
〒959-0292 新潟県西蒲原郡吉田町大字西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

## 仕様

製品名	電気ポット 1L
製品番号	TP-4413/ TP-D413
電源	100V 50Hz・60Hz共用
定格消費電力	405W(湯わかし時最大) 24W(保温時)
容量	1.0
製品寸法(約)	幅 230x 奥行 175x 高さ 245mm
電源コード	長さ 1.4m ビニールコード